

令和4年度（2022年度）第6回南大沢中学校区地域づくり推進会議議事概要

日 時	令和5年（2023年）3月4日（土） 13：30～16：00
場 所	南大沢中学校 3階家庭科室
出席者	参加者：飯田、磯田、伊與田、柿島、木村、佐藤（駿）佐藤（昌）、高津、高橋、田中（茂）、廣瀬、廣田、福澤、宮武、吉村 高齢者あんしん相談センター南大沢：青山 第一層生活支援コーディネーター：今泉 八王子地域 PAL-ETTE：黒田、今居 住宅政策課：上原、池田 未来デザイン室：野田、橋本 （株）エックス都市研究所：松本、小市、田中
見学者	横浜国立大学学生：成田 社会福祉士：伊藤 広聴課長：渡邊 由木事務所長：滝口 協働推進課：矢部
配布資料	第6回南大沢中学校区地域づくり推進会議資料 資料1 中間とりまとめ（案） 資料2 長房中学校区地域づくり推進計画（改定版）（案） 資料3 南大沢中学校区地域づくり推進会議参加者 活動一覧 八王子市空き家マッチング支援事業の利用にあたって 空き家マッチング支援事業利用希望者登録申請書 八王子市空き家マッチング支援事業の利用にあたって 包括南大沢圏域地区診断結果 第5回南大沢中学校区地域づくり推進会議事概要（案）

1 開会

未来デザイン室より挨拶。

2 市からの情報提供

資料をもとに、「八王子市空き家マッチング支援事業」「包括南大沢圏域地区診断結果」について市の担当課から説明した。説明概要と質疑の内容は、以下のとおり。

（1）八王子市空き家マッチング支援事業について

（説明内容）

- ・ 地域活動に使える空き家がないかと、問い合わせを多くいただいている。また、空き家所有者からも、今すぐに売却することはできないため、地域で活用してもらいたいと相談を受けている。このような状況を踏まえ、空き家を探している地域団体と空き家の活用を検討している空き家所有者を結びつける支援策として、八王子市住宅政策課では「八王子市空き家マッチング支援事業」を開始

する。

- ・市のホームページ上でマッチングサイトを公開する予定である。そのサイトには、「提供空き家データベース」と「利用希望者データベース」があり、各データベースからニーズにマッチする物件を探してもらい、市に相手方の連絡先を問い合わせ、相手方に直接、連絡していただく流れになる。
- ・利用の際は、事前登録が必要であり、電子メールで対応できること等、登録には一定の要件がある。詳細は、「八王子市空き家マッチング支援事業のご案内」チラシ裏面を参照していただき、不明点は住宅政策課に問い合わせていただきたい。
- ・マッチングサイトは3月中旬頃の公開予定である。サイト公開前に空き家の利用、提供を検討している方がいれば、「空き家マッチング支援事業利用希望者登録申請書」に記入し、提出していただきたい。

(質疑内容)

なし

(2) 包括南大沢圏域地区診断結果について

- ・令和3年度において、南大沢にお住まいの75歳以上の方の検診結果を用いて、分析を行った。
- ・HbA1cという糖尿病の値と血圧の値は、八王子市平均と同等あるいは少し低い傾向にあるが、LDL（コレステロールに関する脂質異常のデータ）が少し高い傾向にある。これは若い世代の特定健診の結果でも同様の傾向であり、この地域全体として肥満が多いわけではないが、このような傾向がある。
- ・後期高齢者1人当たりの医療費は、他地域に比べて低い傾向にある。ただし、単純に医療機関を受診していない可能性があるため、分析が必要である。
- ・八王子全体のデータだが、「健康とくらしの調査報告書」によると、年齢を重ねるごとに虚弱者や閉じこもり者が増えて増えている。八王子市の健康の一番の課題として、口腔の健康度が年齢を重ねるごとに下がることが明らかとなっている。口の状態が悪くことで食事が取れなくなり、その結果として身体が弱くなり痩せている人の割合が増えてくる。痩せてくると外出の機会が減少し、閉じこもりも増える。認知症のリスクが八王子市と同規模の自治体と比較すると高い傾向にある。
- ・市内21地域の高齢者あんしん相談センターとの比較をしたところ、南大沢は急速に高齢化が進んでいる。まちびらきから40年ほど経ち、当初から入居している方たちが高齢者になり、急激に子ども的人数も減少し、高齢化が進んでいる。
- ・後期高齢者の社会参加状況については、八王子市全体や他地域と比較すると、南大沢はボランティア活動に参加している割合が低い。おそらく、社会とのつながりや様々な活動には参加しているが、地域のための活動に参加する方が少ない傾向にあると考えられる。
- ・要介護になるリスクとして、南大沢の特徴は口の健康度が低く、うつ傾向が八王子市の平均と比べると若干高い。その背景として、南大沢一丁目～四丁目の戸建住宅が立地するところでの閉じこもりが高い傾向にある。ただし、南大沢一丁目は、母数が少ないため高い傾向になっている可能性がある。
- ・80歳代になると急激に閉じこもりの割合が高くなる。痩せている人が増え、体が弱くなるということも影響していると思う。また体が弱くなれば、歩くこともできなくなるという相関関係がある。

- ・主観的健康観については、閉じこもりの傾向にある南大沢一丁目の場合、「まあ健康な方だ」という回答割合が他に比べて少ない。
- ・「自分は孤立していると感じる」については、南大沢二丁目、三丁目の割合が高くなっており、「どのくらい幸せか」については、南大沢一丁目の健康観は低い幸福度は高いという結果になっており、同居率なども関係しているのかもしれない。
- ・「外出の頻度」については、閉じこもり傾向が多い地域は外出の頻度も低くなっている。南大沢四丁目の方は、頻繁に外出されているような特徴がある。また「同居家族」については、戸建住宅が多いところは同居率も高く、団地は同居率が低くなっている。
- ・健康を維持する上で、人と人とのつながりは重要であると研究結果でも言われているが、新型コロナウイルス感染症の拡大前から、集まりに参加していない方が結構な割合でいる。地域づくり推進会議では、地域活動にどうやって人を巻き込んでいくかを考えているが、特に高齢者において地域活動に参加していない割合が高いことや、新型コロナウイルス感染症の拡大後、よりその傾向が加速している現状もあるため、そうした状況も参考にさせていただくと良いかと思う。

(質疑内容)

- ・引きこもりの定義は何か。
⇒週1回以上外出したか、外出の頻度で判断している。若者世代の引きこもりとは定義が異なっている。(南大沢保健福祉センター)
⇒南大沢四丁目の後期高齢者は、よく外出をしているため、引きこもり率が低いということか。
⇒ご認識のとおりである。(南大沢保健福祉センター)
- ・アンケート調査の配布数と回答率を教えてください。全体像を見る際に、母数で変わってくるかと思う。
⇒回答率は6割程度であった。調査対象は、八王子市で把握している75歳以上の介護認定を受けていない方としている。地域によっても回答率に差があるため、データを確認して改めて回答する。(南大沢保健福祉センター)

3 議題

(1) 前回の振り返り

資料をもとに、第5回南大沢中学校区地域づくり推進会議（以下「推進会議」という。）での議論の振り返りを行った。

(2) 中間とりまとめ（案）を考えよう

今回の進行役（ファシリテーター）及び板書係をグループごとに選出した。

	進行役（ファシリテーター）	板書係
Aグループ	柿島氏	宮武氏、福澤氏
Bグループ	飯田氏	高橋氏、廣田氏

続いて、中間とりまとめ（案）について意見交換を行った。主な意見は以下のとおり。

① Aグループ 主な意見内容

- ・ 取組の候補（案）「憩いの場づくり」に、子ども食堂を追加した方が良いのではないかと。
- ・ 包括南大沢圏域地区診断結果では、南大沢一丁目の高齢者は閉じこもり傾向があるとのことだったが、課題も含め全体的に高齢者に関することがないと思う。
⇒課題（ウ）に、高齢者までがつながれる機会が必要とあるため、今後、深掘すべき事項だと思う。
- ・ 取組の候補（案）「憩いの場づくり」に清水入り緑地の活用を追加した方が良い。
- ・ 将来ビジョンについて、「つながる」「支え合う」「認め合う」などがキーワードになるのではないかと。
また、2040年に目指すべき姿だということも念頭に置いて考える必要があるのではないかと。
- ・ 将来ビジョンは、会社でいう経営理念のようなものであり、南大沢に住む人みんながその目標に向かっていけるような言葉が必要なのではないかと。
- ・ 将来ビジョンは、言葉で説明しすぎなくても、アクションプランの柱や取組の候補で補っていけば良い。将来ビジョンに「認め合う」という言葉が入っているが、現状が認め合っていないまちのように感じる。また、「やさしい」という言葉をいれると、誰に何がどのように「やさしい」のかわからない。やさしさは、受け取る側によって違うと思う。
- ・ 2040年、このままだと南大沢は子どもが減り、高齢者が増えている状況だと思う。そうならないために、将来ビジョンは掲げるものだと思う。
⇒少子高齢化を乗り越えるためには、新しいまちになる必要がある。南大沢に住みたい人がいても、住む場所がない。また、これまでの南大沢は住む場所であったが、これからは働く場所にもなっていく必要があると思う。“アットホームマイタウン”という、住む場所という意味合いを強く感じる。
⇒「アットホーム＝くつろぎ」という意味だと思うため、南大沢がくつろぎの場所になると良いという思いを「アットホームタウン」という言葉に込めている。
- ・ 南大沢一丁目、二丁目は、転入者・転出者が多く町会などのつながりが希薄であるため、新たな人たちとの新たなつながりが必要だと思う。
- ・ サードプレイスという言葉があり、家庭、職場以外の3番目の場所を意味する。新しい人と元々いる人がうまくつながれる場所が必要だと思う。子ども食堂はシニアと子育て世代のマッチングの場になっており、そのような場が充実することが「多文化」「やさしい」に繋がっていくと思う。
- ・ キーワードとして「交流」「つながりの場の確保」が必要だと思う。
- ・ 「つながる」のその先には何があるのか。
⇒「安心・安全」など、地域防災の観点から「安心」という言葉が将来ビジョンに入るのも良い。
⇒共に作り上げていくというのも良い。
- ・ 2040年の南大沢はくつろぎの街より、アクティブなイメージの方が良い。
- ・ 南大沢は八王子市や東京都の上を目指して「もっと」というワードを入れてはどうか。例えば「もっとつながる、もっとスマートに、もっと楽しい」はどうか。
- ・ 八王子市は「つながる」、東京都は「スマート」という言葉を使っているため、同語を使っても良いのではないかと。
- ・ 将来ビジョンは再考が必要。
- ・ 魅力と課題について、修正はないかと。

⇒魅力にデジタル推進地区をキーワードとして入れたい。

- ・取組の候補（案）「地域団体をつなぐイベントの実施」を「地域をつなぐイベントの実施」にし、その中に「ミニツアーの実施」を入れ込んでも良いのではないかな。
- ・取組の候補（案）「憩いの場づくり」の「既存の公共施設の有効活用」は重要であるため、アクションプランの柱の4つ目に「地域資源の活用」を追加してはどうか。
- ・取組の候補（案）「憩いの場づくり」の「小さなもてなし」はなくても良いのではないかな。
- ・取組の候補（案）「地域情報ポータル作成」については、発信することはたくさん書かれているが、情報を入手する必要もあるため、「住民の声を集める」を追加しても良いのではないかな。

② Bグループ 主な意見内容

- ・課題「(イ) 担い手の不足」について、取組のアイデアを紹介する。今はなくなってしまった、小・中学生とその保護者によるスポーツ大会の開催、地域団体のつながりづくりのために、各地域団体のリーダー・補佐・推進役の確立と月1回程度の情報交換の開催が考えられる。また、取組の候補（案）「ミニツアーの実施」について、参加を促すためにボランティアポイントの付与など、特典があると良いのではないかな。
- ・転入者にやさしいまちづくりも必要であり、転入者に地域情報等の紹介をしてはどうか。
- ・課題の表現が漠然としている。次のような表現に変えて、それに対して具体的なアクションを考えた方が良いのではないかな。
 - 「自然豊かでみどりが多い」→「自然環境が豊かでみどりが多い」に修正
 - 「公園や広場が多い」→「公園や広場が随所にある」に修正
 - 「四季折々の自然を楽しむことができる」→「四季折々の自然景観を楽しむことができる」に修正
 - 「地域活動が盛ん」は相反する言葉の記載があり、実際は活動に対する課題もあるため「地域活動の場所、メニューが豊富」に修正
- ⇒各団体はつながっていないため、「『個別の』地域活動が盛ん」という意味ではないかな。
- ・課題「(イ) 担い手の不足」の中に、「大学、企業などとの連携」とした方が良いのではないかな。
- ・魅力に「近場で用事が済ませられる利便性が高い」とあるが、買い物などは便利だが、確定申告などの公的な手続きは市役所本庁に行く必要があり不便である。確定申告などもネットでできるが、パソコン操作ができない人もいる。
 - ⇒パソコン操作など、支援できる人材が地域にいると良いと思う。例えば、「確定申告は南大沢三丁目の商店街でできるため、お買い物ついでにどうぞ」など、そういうシステムができれば便利ではないかな。
- ・アクションプランの柱「③地域の魅力をつなぐ人材育成」には、「地域で眠っている人材を発掘する」ことも必要ではないかな。
 - ⇒地域人材のデータベースがあると良いのではないかな。
- ・取組の候補（案）「ミニツアーの実施」について、クリーンデーやミニツアーではコースや歩く時間・距離が選べると楽しくなる。
 - ⇒時間帯を子どもたちの登下校にあわせれば、防犯活動にもなる。
- ・なぜ、推進会議が将来ビジョンの実現に向けて取り組む必要があるのか、地域の人が推進会議の取

組に参加したくなるような、将来ビジョンを掲げる必要があると思う。

- ・課題としては、人と人との間に垣根があり、それをどう乗り越えるかである。乗り越えられない人が、閉じこもりになってしまうのではないか。地域団体間のつながりの場として、推進会議を活用するのが良い。

⇒ニュータウンに住む大多数の人は、人とのしがらみがない、ご近所付き合いをしなくて良いところが良いと言う。そういう方たちに、どうしたら動いてもらえるかが課題である。ゆるくつながれたら良いのかもしれない。

⇒南大沢には移住をしてきたが、元々住んでいたところには町会があり、南大沢にはなくてほっとした面がある。しかし、防災・防犯上地域の人同士がつながっていかないといけないと思う。推進会議の参加者は意識が高いと思うが、それ以外の方にいかに自分事として捉えてもらうかが課題である。

- ・魅力の記載が漠然としているという意見があったが、「自然豊かでみどりが多い」ことがなぜ魅力なのかを書かないといけないと思う。
- ・推進会議が始まった当初は、人が集まる場所が必要だと思っていたが、人がつながることが大事だと気付いた。
- ・アクションプランの柱は、参加者の意見が全て入っている。将来ビジョンは、現状からつながる要素が不足しているのではないかと思う。取組の詳細については、本日決定する必要はないため、現状で出た意見までとする。新しく出てきた大きな意見は3つある。

- ① 外から来た人もやわらかく受け入れるコミュニティに
- ② 地域の人材を発掘し、活躍できる仕掛け
- ③ 「近所付き合いがない」ところを良さだと思っている人が多くいるという問題があり、どうモチベーションをアップさせるか

- ・修正点をまとめると、以下となる。(エックス都市研究所)

<魅力>

- 現状だけでなく、魅力が何につながるか表現を加えた方が良い
- 「自然豊かでみどりが多い」→「自然環境が豊かでみどりが多い」に修正
- 「公園や広場が多い」→「公園や広場が随所にある」に修正
- 「四季折々の自然を楽しむことができる」→「四季折々の自然景観を楽しむことができる」に修正
- 「近場で用事が済ませられ利便性が高い」→「近場で買い物などが済ませられ利便性が高い」に修正
- 「地域活動が盛ん」→「個別の地域活動が盛ん」に修正、メニュー・場所が豊富という文言を追加

<課題>

- (ア)全体をまとめる組織がないため、まとめる組織やコミュニティが必要。
- (イ)「大学などとの連携」→「大学・企業などとの連携」に修正
- (エ)「つながる場所の不足」→「つながる意識の不足」に修正し、“横のつながり”や“自分事にする”意味合いを含める

<アクションプランの柱>

- 「③地域の魅力をつなぐ人材育成」は「・眠っている人材の発掘」の文言を追加

<取組の候補（案）>

- 「地域情報ポータル」の作成に“人材バンク”、“転入者に向けた情報”を追加

③ とりまとめ

各チームで話し合った結果を発表し、修正の方向性について意見交換を行った。主な意見は以下のとおり。

- ・「将来ビジョン」の新たな案と「アクションプランの柱」の4つ目に地域資源の活用が必要ではないかと意見があった。まずは、Aグループから将来ビジョンの新たな案について、思いなどもう少し詳しく伺いたい。（エックス都市研究所）
- ・最初から話が挙がっていた“つながり”と、南大沢では東京都と連携してスマートシティの取組が行われていること、暮らして行く中でなにより楽しいことが一番だという意見があったため、「もっとつながる、もっとスマートに、もっと楽しい」という将来ビジョンを提案したい。（八王子地域PAL-ETTE）
 - ⇒「認め合うやさしい街 アットホームマイタウン」にこの要素を取り入れるのか、もしくは現状のままが良いなど、意見はあるか。（エックス都市研究所）
 - ⇒新たな将来ビジョン案の補足であるが、推進会議の参加者以外の一般市民のことも考えると、「認め合うやさしい街 アットホームマイタウン」だと伝わりづらい可能性があり、短い方が伝わるのではないかとすることでこのような単語とした。
 - ⇒「もっと」というと、現状としてベースが整っていて、さらに繋ぐ、さらにスマートになるといった穿った見方をされないか懸念がある。
 - ⇒「認め合うやさしい街 アットホームマイタウン」がベースとなり、「もっとつながる、もっとスマートに、もっと楽しい」というポップな言葉が入るとより伝わりやすくなると思う。
- ・「もっとつながる、もっとスマートに、もっと楽しい」を言葉として入れるか、あるいは他に適切なワードはあるか。（エックス都市研究所）
 - ⇒「あなたが主役」のような、意識の差を埋められるようなワードがあると良い。
- ・「南大沢」という言葉は入れるか。例えば、JRのキャッチコピーに「行くぜ、東北」とあるが、「〇〇南大沢」にするとキャッチーではないか。また、「南大沢」という言葉が入ることによって、自分事として意識してもらえないのではないかと思う。
 - ※挙手で「南大沢」という言葉を入れるかどうか確認。
 - ⇒「南大沢」というワードを入りたい人が、半数以上いるため、キーワードとして入れる。（エックス都市研究所）
- ・『「あなた」が主役』というより、『「誰も」が主役』が良いのではないか。
 - ⇒「主役」ではなく、「脇役」もいるため、「主役」に限定しなくて良いと思う。
- ・推進会議で活動してきて感じるのは、ガチガチにつながるのではなく、「ゆるく、やさしく、たのしく」つながるといのが大事であると思う。
 - ⇒この3つのキーワードは“もっと〇〇”という形で将来ビジョンに入れても良いと思う。
- ・様々な意見が出ており、将来ビジョンのテーマは再考する時間が必要だと思う。他のところは良く出来ているというのが共通認識であるが、将来ビジョンは整理ができていない。

⇒将来ビジョンについては、次回話し合う機会を設け、本日はキーワードなどに漏れないよう、確認することに留める。(エックス都市研究所)

- ・ Aグループより、アクションプランの柱の4つ目に「地域資源の活用」を入れることが提案されたが、Bグループはどうか。(エックス都市研究所)

⇒アクションプランの柱③に入れてはどうか。

⇒人材も地域資源にひとつとして考えるということか。(エックス都市研究所)

⇒「③地域の魅力をつなぐ人材育成」を、「地域の魅力になる人材・資源の発掘・育成」にしてはどうか。資源にモノ・場所が含まれる。

⇒地域資源には、経済的要素が関わってくる。柱の①と②には入っていないが、まちを良くしていくためには経済も必要だと思う。

⇒人材はわかるが、資源の発掘とは何を指すのか。

⇒清水入り緑地や地域にある企業を指すが、対象が広がりすぎてわかりづらい。

⇒3つ目は現状のままとし、④地域資源の活用にして分けた方が良いかもしれない。

⇒③はあくまでも人に限定して、「発掘・育成」を加え、④にモノなど経済的要素を入れてはどうか。

⇒①に人材データバンク、人材の発掘・育成を入れ、③をモノなどの地域資源にしてはどうか。

⇒皆さんの意見を踏まえると、アクションプランの柱①地域ぐるみの体制づくり、②みんながつながる機会・場づくり、③地域の魅力になる人材の発掘・育成、④地域資源の活用で良いか。また、魅力・課題は、意見を踏まえ事務局側で修正することで良いか。(エックス都市研究所)

⇒良い。(全体)

- ・ 取組の候補(案)について、Aグループより「地域団体をつなぐイベントの実施」に「ミニツアーの実施」も含まれるのではないかというご意見があった。「ミニツアーの実施」を含める場合、「地域をつなぐイベントの実施」に修正してはどうかという意見があったがどうか。(エックス都市研究所)

⇒今回、取組の候補は固めるのか。それとも、アクションプランを考える中で出てくるものが取組となるのか。

⇒アクションプランを考える中で出てくるものが取組となる。(エックス都市研究所)

⇒来年度ワークショップを開催し、地域の方にご意見を伺う機会もあるため、そこでのご意見も反映することでも良いと思う。(エックス都市研究所)

(3) 地域づくり推進計画のまとめ方を考えよう

時間を超過したため、参加者の承認を得て次回以降検討することとなった。

4 情報交換「みんなにシェア・みんなでシェア」

- ・「清水入り緑地の里山的整備プロジェクト」について、4年ほど前からナラ枯れが起きている木を伐採し、落ちていたどんぐりで育てられた苗がかなり成長した。その苗を植える植樹祭を3月19日(日)13時30分から15時30分に開催する。地域の方と放課後子ども教室の子どもたちとで行う。参加希望者は、チラシのQRコードから申し込んでほしい。雨天時は3月21日(火・祝)に順延となる。
- ・南大沢中学校区で毎月第2、第4水曜日に「どんぐり分校いきいきサロン」を開催している。こうした取組を発信し、つながりを持っていない方をつなげていけたら良いと思っている。(高齢者あんしん相談センター南大沢)
- ・3月18日(土)にイトーヨーカドー南大沢店で「出張からだチェック」を開催する。3月15日(水)は、女性向けのセルフケア講座を開催する。また、3月6日(月)と3月14日(火)に「足指力測定」という足の筋力を調べる測定会を当センターで開催する。出張講座もできるため、希望がある場合は連絡してほしい。(南大沢保健福祉センター)
- ・4月29日(土)と4月30日(日)に中郷公園で第25回フラワーフェスティバル由木を開催する。4年ぶりの開催であるため、来場できる方は是非、参加してほしい。(協働推進課)
- ・推進会議の参加者にご登壇いただいた、1月28日(土)に開催した地域フォーラムの様子を3月中旬に市のYouTubeへアップする予定である。アップしたらメールで知らせる。また、3月1日発行の広報特集号で地域づくりについて掲載しているので、ぜひご覧いただきたい。(未来デザイン室)

5 閉会

次回の地域づくり推進会議の日程等を確認した。

- ・今年度の推進会議は本日が最終回となる。来年度は5月27日(土)9:30~12:00を予定しているが、学校の予定が決まっていないため、後日、日程はお知らせする。(未来デザイン室)
- ・未来デザイン室は、3月をもって解散となり、新しい組織に引き継がれる。体制は変わらないが、組織名が変更になる。(未来デザイン室)

以上

「中間とりまとめを考えよう」ワークシート

魅力

デジタル推進地区
シェアモビリティ

スマート東京

課題

子供が繋がら
なくなって
しまった

高齢者の
引きこもり

暮らしに

将来ビジョンのキーワード

新しい住人と つながる機会	ふれ合い 交流	楽しいことは すぐそばに 南大沢	安心
つながるって 楽しい 南大沢	多世代交流	レインボー	より良い未来
コネクト	もっと	きっかけ づくり	アットホーム ＝ くつろぐ
つながる	“八王子” とは違う	楽しい	活気ある街
つながろう 南大沢	南大沢らしさ	共に作り 上げていく	やさしい ↓ 子ども食堂
短くて わかりやすく	ファミリー層 増	地域の考えを 市へつなぐ	ベッドタウン の イメージが 強い？

将来ビジョン

もっとつながる
もっとスマートに
もっと楽しい

アクションプランの 柱

地域資源の活用
を4つ目の柱に
位置づける

清水入り緑地

都立大

取組の候補

地域をつなぐ イベント	高齢者の つながりの場
いこいの場の 後ろに 「(サードプレイス)」 を入れては どうか	住民の声を 集める
こども食堂	ボランティアを 通した社会参加
シニア食堂	多文化

「ミニツアーの実施」は、
「地域団体をつなぐイベ
ントの実施」の下に入れ、
「地域をつなぐイベント
の実施」に変更してはど
うか。

「中間とりまとめを考えよう」ワークシート

魅力

散歩コースが多く傾斜ありと傾斜なしのコースが選べる(階段が多いが)

買い物などの利便性は良いが公的な手続きが不便

例えば、「自然豊かでみどりが多い」は、「自然豊かでみどりが多いことで、健康にながっている」など、何の魅力に繋がっているか、具体的表現がベター？

自然豊かなのは良いが、手入れが行き届いていない所があり、先を見据えた自然・緑の計画

文章について、以下を修正
1 ポツ目：自然環境が豊か
2 ポツ目：景観を楽しむことができる
3 ポツ目：随所にある
7 ポツ目：個別の地域活動が盛んでメニューが豊富

ニュータウンの良さ = しがらみがない

将来ビジョンのキーワード

転入者にも優しいまちやわらかく受け入れる

ゆるく

楽しく

SDGs

アットホームマイタウンはサブタイトルにしてはどうか

取組の候補 (案)

ミニツアーの実施

クリーンデー & ミニツアーを小さく始める

地域団体をつなぐイベントの実施

スポーツイベント

地域情報ポータルサイトの作成

眠っている人材の発掘データバンク

人材 × 場所 マッチング

カルテを活用した情報発信 (転入者向け)

アクションプランの柱

柱①関連

説明文の文末を「目指します」を模索 or 着手にして、実行に移す表現にしたい

これから実行に移していくため「目指します」が良いと思う

横のつながりをまずは推進会議メンバーがつくる

団体間の取りまとめ役

月1回 団体が集まり話せると良い (情報交換の場)

柱②関連

場づくりより先に人のつながり

推進会議の参加者だけでなく、地域住民が参加したくなる土台づくり

柱③関連

柱を「地域の魅力をつなぐ人材発掘・育成」に修正

柱の説明文に「眠る人材の発掘」を1つ項目としてたてる

課題

(ア) 関連

組織が多く、どこがリーダーかわからない

自分事にするために、自分たちで地域のことを決めていく仕組みが必要

(イ) 関連

3 ポツ目「大学・企業などとの連携」に修正

自主性を持った若者育て

(ウ) 関連

住民同士の垣根を超えるきっかけが必要 (仕掛けづくり)

きっかけをつくるのは推進会議

自治会のスポーツ大会がなくなって関りがなくなった

(エ) 関連

つながる「意識」が不足しているのではない

つながりたい = マジョリティーという意識を持つことが必要

つながる意識を持ってもらうには、自分事にする必要がある

共助が大事 (気軽につながる)

子どもを中心にアクションができれば良い

近所付き合いがなくて良いと思う人 (大多数) を動かすのは難しい

つながりをつくる仕組み

「中間とりまとめを考えよう」とりまとめ

将来ビジョン

○改めて、話しあう機会を設けた方が良い

キーワード

もっと ゆるく・やさしく・楽しく

入れたいワード **南大沢**

自分ごとになってほしい

||

あなたが **主役**

||

誰もが 脇役も含めたい

アクションプランの柱

○4つ目の柱をつくるか？

～修正案① ③の柱にすべて含める～

③地域の魅力になる人材・資源の
発掘・育成

～修正案② 3つ目を修正し4つ目の柱を設ける～

資源には企業など経済的要素も含まれるため、
2つに分けた方が良い

③地域の魅力になる人材発掘・
育成
→人

④地域**資源**の活用
→企業など経済的要素も含む

魅力・課題

各テーブルの意見をもとに
事務局で修正

取組の候補（案）

次回のワークで議論することで良い